

そ お

# 曾於 議会だより

2011.5

No.24



平成23年度一般会計予算

2

市政を問う

7

委員会報告

17

さあやるぞ!ピカピカの新一年生 (P20 参照)

# 財部中学校校舎改築事業



財部中学校  
老朽化した管理教室棟（昭和43年建設）と普通教室棟（昭和44年建設）を改築します。  
事業費は3億7,487万7千円の2ヶ年事業です。

3月定例会は、2月25日に開会し、3月30日に閉会しました。定例会では、平成23年度当初予算や平成22年度予算の補正に関するもの、また曾於市メセナ住吉交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例など議案23件、報告3件、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に関する決議の他、発議などを審議・議決しました。

# 平成23年度一般会計予算

# 219億4,700万円

## 前年対比 5.7%(11億8,800万円)の増

### 当初予算

#### (賛成多数 可決)

本年度の一般会計当初予算は、平成22年度当初予算に対して、11億8800万円、5.7%増の219億4700万円です。

歳入で市税は、景気低迷による給与所得等の減収見込みと固定資産税、市たばこ税の増収見込みにより0.1%増の28億4130万8千円。地方交付税(普通交付税)は、1.8%増の84億円。

国庫支出金は、安心・安全な学校づくり交付金により10・7%増の23億6050万8千円、県支出金は、強い農業づくり交付金の減額により、10・5%減の18億1232万1千円を計上。

繰入金は、公営住宅建設事業等に充当するための、ふる里開発基金繰入金の増額により、16・3%増の5億3869万4千円を計上。市債については、農産加工研修センター、消防センター、健康増進施設の各整備事業、まちづくり基金造成事業及び、臨時財政対策債により、22・4%増の39億5240万円が主なものです。

歳出では、人件費が職員数の減等により4.1%減の33億6304万6千円、物件費は6.6%増の25億6940万1千円。維持補修費は、13・2%増の2億1172万1千円、扶助費は8.4%増の35億3775万

9千円、補助費等は、34%減の24億320万1千円、公債費は30%減の30億3047万7千円、積立金は、山中貞則顕彰記念事業基金積立金等により、7.9%増の6億4301万5千円、繰出金は50%増の17億541万7千円。

また、普通建設事業費は、健康増進施設

整備事業、農産加工研修センター整備事業、公営住宅建設事業、地域振興住宅建設事業、消防センター整備事業、及び財部中学校校舎改築事業等により25・8%増の4億3608万6千円となりました。

### 議会映像配信システム導入



インターネットで本会議のライブ中継・録画映像を視聴できます(P20参照)

## 健康増進施設整備事業 1億9,228万9千円

市民の健康増進と福祉の向上を目的としています。



現在の末吉老人福祉センター

## 健康増進事業

### 7,934万4千円

早期発見・早期治療のために  
肺がんCT検診導入。



肺がんCT検診風景

## 地域振興住宅建設事業

### 1億3,663万円

人口増加や定住の促進を図ります。



地域振興住宅

# クローズアップ 新年度予算

## 曾於市消防センター建設

### 3億5,000万円

市民の生命と財産を守る消防センター



現在の大隅曾於地区消防組合消防本部・北部消防署

## 大隅農産加工研修センター整備事業

### 2億4,448万1千円

農産物の加工や各種研修会を通じ地区の活性化  
を図ります。



地域グループによるみそ作り

# 平成23年度一般会計 219億4,700万円はこのように使われます

☆市民サービスのために	29億6,499万1千円	☆生きがいと健康のために	77億4,407万0千円
議会費	2億2,880万6千円	民生費	63億3,480万2千円
総務費	27億3,618万5千円	衛生費	14億 926万8千円
☆豊かなくらしのために	26億9,711万5千円	☆くらしと安全のために	34億7,295万6千円
労働費	1,425万1千円	土木費	23億8,382万3千円
農林水産業費	24億8,219万0千円	消防費	10億7,226万6千円
商工費	2億 67万4千円	災害復旧費	1,686万7千円
☆文化と教養のために	20億 739万1千円	☆返済のために(公債費)	30億3,047万7千円
☆備えのために(予備費)	3,000万0千円		

会計名		23年度	22年度(当初予算)	前年対比	被保険者数
一 般 会 計		219億4,700万0千円	207億5,900万0千円	5.7%	
特 別 会 計	国民健康保険	60億6,520万0千円	60億9,804万3千円	△0.5%	13,548人
	老人保健	0千円	162万6千円		
	後期高齢者医療	4億7,539万8千円	4億9,170万2千円	△3.3%	8,341人
	介護保険	46億3,378万8千円	43億7,945万0千円	5.8%	13,830人
	公共下水道事業	3億9,702万8千円	3億8,515万8千円	3.1%	
	生活排水処理事業	8,451万1千円	1億1,826万3千円	△28.5%	

**特別会計**  
 ★平成23年度曾於市国民健康保険特別会計予算(賛成多数 可決)  
 疾病予防費で特定健診とがん検診を組み合わせたミニドック事業を行うため、212万7千円を計上。これについては、市単独のミニドック検診であり、自己負担額は男性7千円、女性6千円です。

## 水道事業会計

項目	23年度	22年度	前年比
収益的収入	5億4,590万3千円	5億4,560万1千円	0.1%
収益的支出	5億1,151万8千円	5億2,604万7千円	△2.8%
資本的収入	1億1,800万0千円	6,400万0千円	84.4%
資本的支出	3億9,280万9千円	3億2,768万8千円	19.9%

★平成23年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算(全会一致 可決)  
 本年度は5人槽40基・7人槽9基・10人槽1基、計50基の設置計画です。ちなみに平成14年度から平成22年までの設置数は678基です。

★平成23年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算(賛成多数 可決)  
 後期高齢者医療特別会計予算については、広域連合の積算に基づく保険料(保険料率据置)及び連合会納付金が主であり、被保険者数は8,341人です。

★平成23年度曾於市公共  
水道事業特別会計予算

(賛成多数 可決)

本年度も面整備は汚  
水枝線管渠の詳細設計  
と工事を実施、受益地  
区での下水道への接続  
を行う予定。加入率の  
向上が肝要である。

★平成23年度曾於市水  
道事業会計予算

(賛成多数 可決)

収益的収入について  
は、営業収益と営業外  
収益が主なものです。  
また収益的支出につい  
ては、営業費用と営業  
外費用が主なものです。  
また資本的支出につ  
いては、建設改良費と  
企業債償還金です。  
なお本年度4月より新  
料金での供用開始です。

補正予算

★平成22年度曾於市一般  
会計補正予算(第11号)

(全会一致 可決)

予算審議についての質  
疑状況

財産処分について

○市の未利用地について  
売れるところは民間活  
用も含めて処分し、収  
入を増やすべきである。

曾於市クリーンセンタ  
ー改修計画は

○クリーンセンター改  
修事業費4000万円  
は焼却炉を止めなけれ  
ばならないとの理由  
で、すべて23年度に繰  
越しを提案。  
事業計画が甘かったの  
ではないかと意見あり。

末吉総合センターの空  
調工事は

○空調工事費5895  
万円は室外機設置場所  
の地盤沈下のため、24  
年度以降に再度検討す  
るとの説明に、必要性が  
あるのなら23年度事業  
ですべきとの意見あり。

財部道の駅きらら館改  
修工事において

○財部道の駅きらら館  
改修工事において予算  
流用があり、議会に報

告すべきとの声あり。

また、駐車場取得に  
ついて地主と合意が  
できなかったとの予算  
減額であるが、当局の  
予算提案について厳し  
い意見あり。

条 例

○曾於市災害対策援護資金  
貸付条例改正を可決

(全会一致)

災害による被害復旧  
の為の資金貸付限度額  
を20万円から100万円  
に引き上げ、償還期間を  
5年から10年に改正。  
借入れに際しての連  
帯保証人は不必要。

○曾於市メセナ住居交流セ  
ンター入浴料改正を可決

(全会一致)

75歳以上の市内居住  
者及び身体障害者手帳  
等所持者については入  
浴料を300円から2  
00円に、1日入浴料  
500円を300円に  
値下げ。

東北地方太平洋沖地震に関する決議

平成23年3月11日に発生した国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」は、東北・関東地方を中心に広い範囲で、地震、津波等により、多数の死傷者や行方不明者をもたらした。また、産業や道路・鉄道などの交通、電力、水道、通信等のライフラインなど、住民生活に壊滅的な打撃を与え、時間の経過とともに、被害の状況は拡大している。

さらに、東京電力福島原子力発電所においても、その施設が甚大な被害を受け、住民の被曝も確認されており、広範囲にわたり周辺住民は避難を余儀なくされている。現在も今回の地震による被害の全容は明らかになっておらず、まさに未曾有の大災害である。

今回の大震災で犠牲になられた方々やそのご遺族に対して、曾於市民とともに深く哀悼の意を表し、被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を願うものである。

本市においては、関係機関と連携して既に消防隊の派遣、義援金箱や支援物資受付窓口の設置、市営住宅の受入れ等の支援に取り組んでいるが、曾於市議会としても被災地の早期復興を願い、今後の支援対策にも全面的に協力していくものである。

なお、国においては、被災者救済及び被災地復旧のためのあらゆる措置を講じるとともに、今回の大震災を踏まえ、防災対策について抜本的な見直しを行うよう強く求めるものである。

併せて、原子力発電所に関しては、今回の事故を教訓として、国において十分な安全が確保されるよう基準の見直しを講じるとともに、鹿児島県及び九州電力株式会社においては、徹底した情報公開のもと、改めて川内原子力発電所の安全対策及び防災対策並びに住民の安心安全を確保されるよう強く要請する。

以上、決議する。

平成23年3月30日

鹿児島県曾於市議会

一般質問  
10議員登壇

# 市政を問う

## 市長の外国訪問の 時期と目的は

市長／誰とゴルフをしたかは言えない



徳峰 一成 議員

**徳峰議員** 新燃岳の噴火や鳥インフルエンザが起きている時期に、視察の内容など明らかにしないまま、なぜ一週間にわたって海外に行かれたのか。

**池田市長** 副市長には、あらかじめ視察の内容は文書で示していた。タイのカセサート大学より講演依頼を受け、日本農業について特別講演をした。

**問** しかし私が全員協議会で副市長に質問したが、視察の内容など説明がなかったのではな

いか。  
タイでは、何人の職員と合流してゴルフをされたのか。  
**市長** ゴルフはしたが、私的な視察であり名前と人数は言えない。

## フラワーパークは 止めよ

**問** 共産党議員団が実施した市民アンケートでは、フラワーパークに賛成5%、反対78%の明確な結果となった。  
**市長** 共産党議員団のアンケートは誘導的であった。私のもとには、やってくれとの声が多い。  
**問** 市長は本当に、市民はフラワーパークに賛成と考えているか。  
**市長** 私を支持する市民は賛成してくれている。



ハウスの降灰除去作業

**問** 同じことを再三質問しても明確な答弁ができないところに、この事業の根本問題がある。  
次に、この事業の年次計画を聞きたい。本来なら10億円を超える大きな事業であり、あらゆる計算で年次計画に入るべきではない。

**市長** 23年度303万1千円、24年度5億1480万円、25年度5億5200万円、26年度5億7200万円の概算事業費である。

## 市長など三役の 退職金は廃止を

**問** 市民アンケートでは、市長など三役の退職金は現状のままより4%、廃止すべき88%

と明確な結果である。

**市長** 退職金を廃止しているところは県内にはない。市が加入する鹿児島県市町村総合事務組合に従っていきたい。

**問** 市長は4年ごと支給の退職金が、世間では通用すると考えているか。  
**市長** そのように(通用すると)思っている。

**問** ただ今の市長答弁には、市民はあきれるのではないか。時代の流れからいって4年ごと支給の多額の退職金は廃止すべきであり、市長の決断で曾於市から廃止できるではないか。

**市長** 市町村総合事務組合が廃止の方針を出すなら、それに従いたい。

# 豪雨災害による 農地などの復旧状況は

市長／植付けに間に合うよう  
復旧する計画である



吉村 幸治 議員

**吉村議員** 新燃岳噴火  
による本市の被害状況は。

**池田市長** 市民生活面  
の被害は、洗濯物が外

に干せない、健康面からマスクが必要等である。農作物の被害はハウス栽培・トンネル栽培・露地栽培など18品目で確認されている。

**問** 対策をどのように考えているか。

**市長** マスクの寄贈があり、小・中学生と希望する市民に現在配布



復旧が急ピッチに進む水田整備（中谷地区）

している。健康被害、火山灰の処理などについても緊急に有線放送で周知を図った。

**問** 住宅等の灰除去で、特に高齢者宅等の支援策は考えられないか。

**市長** 耕地課所管の現在の工事発注状況は70%となっているが、茶畑等で収穫に影響の

**市長** ボランティア等（業者）より申し出があったので社協を通じて調査した。

## 豪雨災害復旧の 進捗は

**問** 豪雨災害復旧の進捗状況はどうなっているか。

ある地区を除き、3月中には全部発注を終え、稲の植え付けに間に合うように復旧する計画である。公共土木災害は72件を発注して56件が完成している。

**問** 水田は用排水路の埋没もかなりあるので、耕作者が安心して植え付けできるように復旧を進めるべきである。

**市長** 復旧後に、水整地がすみやかに出来るように対応する。

**問** 対策が急務な庄内川（県境）の河川改修は現在どうなっているか。

**市長** 管理主体である県は、庄内川・溝之口川の河川改修計画について国との協議を終了し、宮崎県との費用負担等一部を除き、ほぼ調整を終えているとのことである。

**問** 改修計画の内容は。

**市長** 現在、測量・設計等調査中であるが、宮崎県が上流部で災害関連事業を実施することから、それにあわせて改修工事を鹿児島県も4月から6月にかけて実施したいとのことである。

**問** 工事の内容は。  
**市長** 河道掘削かどくつぞくが主なものであり、範囲等については、現在調査中のことである。なお、3月16日には、地元説明会を行なうとのことである。



県より河川改修の説明を受ける関係者



# 行財政改革の進捗状況は

市長／目標数値の見直しが必要



谷口 義則 議員

**谷口議員** 「行政改革推進委員会答申」を受けて、総括的に市長はどう受け止めたか。

**池田市長** 地域主権改革における市町村への権限委譲や義務付け、枠付けの廃止と条例制定権の拡大など考慮した目標値の見直し等必要と考える。



売却予定地の区画整理保留地

**市の未利用地の売却促進等その取り組みは**

**問** 自主財源確保の観点から、市の未利用地売却促進等、民間活用を含めた取り組みは考えられないか。

**市長** 市の所有財産の有効活用を図るうえから、未利用地等の売却可能な物件については、

民間活用を含め今後十分検討し進めていく。

**市職員の意識改革や研修体制の確保を**

**問** 地域主権の流れの中で、職員の意識改革や研修体制の確保が急務と考えるが。

**市長** 職員が少なくなる中で、何より必要性を感じるのは、職員の意識改革である。

職員全員がより高い意識のなかで取り組む事が、行財政改革には不可欠である。今後十分取り組んでいきたい。

**災害対策について**

**問** 新燃岳噴火による降灰が与えた本市への影響についてどのよう把握されているか。また、今後の対応について問う。

本質問については、同僚議員と同趣旨の質問に対する答弁で、了とするものである。



市民課窓口風景

# 財部温泉センターの 指定管理者は見直しを

市長／3月9日の回答をもって判断したい



五位塚 剛 議員

財部温泉健康センターの指定管理者の見直しを

**五位塚議員** 昨年の4月1日より(株)総合人材センターが運営を指定管理された。しかしこの間、雇用関係も含めて問題が多い。見直しを求める。

**池田市長** 指定管理者を呼び出し確認事項、執行状況など改善勧告しているが、業者の改善がなされていない現状である。

が出されている。新年度から見直しを。

**市長** 給料などを含めて改善点を要求したので、合意できなければ変更する。

## 市民に一坪農園の提供を

**五位塚議員** 農地を持つていない市民のために野菜づくりができる一坪農園をすすめるべきではないか。

**池田市長** 一坪農園を開設となると、農地・トイレ・水道など相当の投資が予想される。また現在の所、市民からの要望もよせられていない。



財部温泉健康センター



利用者増が待たれるバンガロー

## 柳迫地区に 宅地分譲事業を

**問** この事業による人口増の役割は大きい。前回提案した時に財部地区のあと検討すると言われていたが、なぜ新年度事業に提案されなかったか。

**市長** 財部地区の分譲事業が23年度整備、24年度に分譲を予定しているその結果を見て検討したい。

## フラワーパーク公園 建設は中止を

**問** フラワーパーク公園建設はやめなさいという声が多い。白紙に戻すべきではないか。

**市長** 観光の場、市民のいこいの場として前向きにすすめていく。

**市長** 幅広く市民の声を聞いてすすめていきたい。

# 新燃岳噴火による農作物等の被害及び対策について

市長／迅速に指示し対処する



九日 克典 議員

**九日議員** 本市における農業被害額は。

**池田市長** ハウス栽培で12品目12・8ha、トンネル栽培で2品目7.5ha、露地栽培で4品目14・5haの計18品目34・8haであり、ほう



灰まみれのほうれん草（財部町）

れん草を主として400万円位であった。

**問** 悪化した土壌の田畑はないか。

また、その対策は。

**市長** 曾於市技術員連絡協議会で土壌分析を実施している。

現在甚大な影響を及ぼす数値は計測されていないが、今後の降灰状況では影響が懸念される。

今後、技連会として

土壌分析の呼びかけ、その結果を基にした適正施肥指導の徹底を図っていく。

**問** 栽培管理、技術指導の徹底に向けた体制はできているか。

**市長** 県・農協・市などで構成する技連会などで密に連絡調整を行い、被害状況把握や栽培管理、技術指導が迅速にかつ徹底できるような体制を整備している。

**問** 庄内川の土石流被害は想定されていないか。

**市長** 土石流の直接的な被害はないと考えるが、火山灰が流されることで堆積や梅雨時期の増水が考えられる。昨年の豪雨災害後、県が寄州除去を行い河川断面の確保がなされている。

23年度は河川の掘削等も予定され状況を見ながら、県と協議し対応する。

## 疫病予防事業について

**問** 子宮頸がん予防ワクチンの助成内容について。

**市長** 助成対象者を、中学校2年生から高校1年生相当の女子で接種費用3回とも全額助成を行う。法定予防接種ではなく、保護者の判断でおこなう任意の予防接種である。

**問** 検診、予防接種について具体的な啓蒙、啓発活動を伺う。

**市長** 集団検診、個別検診を受けていただくよう有線放送及び、広報紙を通じ受診勧奨を行っている。若年者の受診率を上げる為に、無料クーポン券と検診手帳を通じて各家庭に案内を行い、ホームページ・子育て携帯サイト等で受診勧奨を行う予定である。

節目毎に子宮頸がん無料クーポン券を配布

# 遊休農地解消に飼料用稲を

市長／農業委員会に取り組みを  
お願いしたい



迫 杉雄 議員

## 農業生産の向上を

**迫議員** 本市の農業生産額が年々減っていく状況に今後の対応策は。

**池田市長** 生産額が前年度よりも減少している品目数は、45品目中21年度で21品目、22年度では25品目となっている。減少の要因として、21年度の干ばつ、22年度の低温・多雨の異常気象や口蹄疫発生、また高齢化等による栽培面積の減少、並びに単価の低迷などが上げ

られる。今後は農畜産物生産安定に向けて具体的な検討を行う。



客で賑わう四季祭市場

**問** 農業を元気づける為、地産地消や販路拡大、全国的流通について今後ブランド確立を目指す対応は。

**市長** 学校給食への利用促進や道の駅においての販売に取り組み。また、安心安全、安定生産供給の体制づくりを加速することがブランド確立につながると思う。

## 耕畜連携について

**問** 今年度、水田利用自給向上事業での飼料用稲（青刈り）作付け面積並び実績額はどうであるか。

**市長** 飼料用稲の作付面積及び交付金額の実績は、WCS用稲が33・3ha、金額で2538万7628円が今年度の実績である。

**問** 畜産を取りまく環境等を鑑み、飼料生産増を図る考えとして遊休農地等の利用を推進すべきではないか。

**市長** 農業委員会に遊休農地の解消に向けて取り組みをお願いし、畜産農家には飼料米や飼料用稲等の作付け対象に賃貸借等の利用権設定を推進する。

**問** 生産者と消費者並びに食品関連業者の自主的な衛生管理はもと



ラッピング中の飼料用稲

より、本市は安全な食品等に対する責務と役割を果たす取り組みはどうか。

**市長** 食の安心安全は生産者の顔が見える農業の取り組み、減農薬、減化学肥料栽培の普及、また生産から加工までの6次産業化を推進することも食の安心安全につながると思う。

**飼料用稲とは**  
稲を家畜用の飼料として与えるもので、玄米を粉碎し処理をして鶏や豚、牛に与える「飼料米」と、籾と茎葉を同時に収穫、梱包し発酵させ「稲発酵粗飼料WCS（稲ホールクロップサイレージ）」がある。

# パークゴルフ場を 大隅弥五郎伝説の里に

市長／調査してみる



八木 秋博 議員

**八木議員** 大隅地区振興策として大隅弥五郎伝説の里及び隣接の中山公園をフラワーパークとパークゴルフ場として整備できないか。

**池田市長** 現在、弥五郎伝説の里は桜の名所、



大隅弥五郎伝説の里 航空写真

そしてランドゴルフ場としての位置付けであるが、中山公園、合庁整備等あわせて調査していきたい。

## 大隅地区振興大会について

**問** 大隅地区校区振興大会廃止及び3連絡所廃止における代替案は。

**市長** 校区振興大会については、曾於市全体と

して共通認識のもと生涯学習のまちづくり推進事業として、また3連絡所は23年度から指定管理をお願いし、曾於市全体の公平性、利便性を考え総合的なサービスを検討していく。

**問** 分庁舎体制を含めた組織再編は。

**市長** 本庁と支所の事務配分の精査を行いながら中長期的な視点で慎重に検討したい。

## 太陽光発電システム普及は

**問** 地球温暖化対策としての曾於市の取り組みは。

**市長** 昨年度「曾於市役所地球温暖化対策実行計画」及び「曾於市環境基本計画」を策定、今後国・県の動向にあわせて取り組んでいく。

**問** 末吉庁舎及び末吉中・笠木小太陽光発電導入の効果と、公共施設への今後の計画は。

**市長** 庁舎太陽光発電は平成22年度4月から稼働し前年同期と比較すると、消費電力は5%アップであるが、電気料は0.5%減という状況である。

学校での設置は環境学習に効果を上げ、今

**問** 民間住宅太陽光発電システム導入支援の考えは。

**市長** 県内いくつかの市で補助を交付し、支援されているが、本市は実施していない。近隣の市町村の状況を調査したい。



太陽光発電システムを導入した住宅

# 家畜伝染病には 万全の対策を

市長／農家の意識は高い  
今年も消毒薬を配布する



土屋 健一 議員

**土屋議員** 鳥インフルエンザの発生があった。市の対策はすみやかにとられたか。

**池田市長** 市内にはブロイラー、採卵鶏合わせて53戸で約416万羽が飼養されている。昨年12月21日に出水市で発生したことを受け、翌日に市の家畜防疫対策連絡協議会を開催し有線放送で注意喚起を行った。100羽以上の飼養農家へは県から、それ以外の家きん類を飼養されている家庭へは

市から石灰を配布した。韓国では540万羽が処分され危惧している。今後消毒や野鳥対策等侵入防止の徹底を呼びかけていく。



防疫対策の進んでいる養鶏場

大型農場へは家畜保健衛生所と立入調査を実施し指導していく。

**問** 昨年の口蹄疫騒動は二度とあってはならない。終息以降、国の指導は強化されたか。市の対策は。また、農家の意識高揚は図られたか。

**市長** 県単独の口蹄疫防疫対策マニュアルが

昨年12月に作成された。万一発生した場合の初動から完了まで詳細に列記されている。家畜伝染病予防法の改正案は今国会に提出。韓国では未だ終息せず危惧している。農家での徹底した消毒が大切である。23年度も消毒薬を配布する。市は万一の発生を想定した人員配置、消毒資材や機材の備蓄をし初動体制を整えている。消毒の徹底と農場への出入りの制限、記録を農家へお願いしたい。機会ある度に意識高揚を図る。

## 降灰対策について

**問** 新燃岳の噴火による降灰は多くの想定外であった。

市として考慮すべきは。

**市長** 財部の北部、県境寄りは大変な被害であった。心からお見舞い申しあげる。また、マスク等を寄贈頂いた個人や団体に厚くお礼申しあげる。



寄贈されたマスク

多量の降灰は生活や健康面で支障をきたす。各支所や学校でマスクを配布しているが呼吸器、目、皮膚の疾患には留意してほしい。産業面では国の支援対策が講じられているので各機関へ相談してほしい。市としては県と協議しながら被災者を支援していきたい。

# 新規就農者支援対策について

市長／場合によっては1年間の延長を検討する



今鶴 治信 議員

**今鶴議員** 親等の経営基盤を引き継がず新規経営する者は、何人、何組いるか。

**池田市長** 現在2人、2組である。



明日の農業を担う新規経営者

**問** 親の経営基盤を引き継がず全くゼロからの新規就農者は、初期の設備投資が大変大きいことや、農作物の栽培技術、家畜などの飼育技術の習得に一定期間の経験が必要なことから、現行の2年間の支援金の支給でなく1年間の研修期間を含めて3年間の支給はできないか。

**市長** 財政的には、なかなか難しいところも

あるが、やる気のある新規就農者には、場合によっては、1年間の延長も含めていろんな点から検討する。

## 農業用排水対策について

**問** 昨年、南之郷早馬地区の農業用排水路の一部が詰まって宅地に災害が出たが、原因は何か。

**市長** 豪雨により排水路の上部にかぶせてあ

った積み石が落下し、排水路の断面をふさいだため、そこから水が地上に噴き出したことが原因である。

**問** 被害にあった宅地の住民は、いつかまた災害に合うのではないかと不安から排水路の分流か他の場所への移転を望んでいるが、どう考えているか。

**耕地課長** 災害復旧工事は、万全を期して行っており今後宅地への災害の心配はないと思う。

**問** 今すぐ排水路の移転が難しいなら日頃から排水路の点検や、万全の維持管理を望むがどうか。

**課長** 今後排水路の点検と維持管理をしっかり取り組んでいく。

**問** 南之郷檉神社近くの大淀川に面した水田の排水路が、大雨の時



排水路整備が待たれる大淀川流域

逆流して土砂が流入したが、その対策はないか。

**市長** 市単独では、なかなか難しいので関係機関と連携して対応策を検討する。

**問** 以前、湿田の暗渠排水工事に対する助成があったが、現在はどうなっているか。

**市長** 15年ほど前までは、転作の条件整備を目的とした県単水田農業確立整備事業があったが、現在は実施されていない。今後市単独補助事業を検討する。

# 市の意志決定は 条例であるが

市長／条例より要綱の方がやりやすい



山下 議員

## 人口増対策の実績は

**山下議員** 合併後の曾於市定住人口増を目的に制定されている条例の実績は。

**池田市長** 17年から行っている住宅用地分譲条例では25世帯89人、18年からの家族転入者に補助金を交付する定住促進条例では113世帯345人、20年度からの一戸建住宅を建築し貸与する地域振興住宅では40世帯135人、計178世帯569人となっている。



人口増につながる定住促進住宅

**問** これ等の条例内容再検討の必要性は。特に定住促進条例は、本年3月末で失効するが。

**市長** 内容再検討は考えていない。定住促進条例は市長権限で制定できる要綱で、祝い金として考えている。

**問** 現在議会も認めている条例を、改正する方法で内容検討し実施すべきではないか。そうすると議会も責任があり連帯し曾於市人口増に対応できる。議会開会中であるので間に合う。

**市長** 市長が柔軟に対応できる要綱で行う。

## 財部山崩れの 災害復旧は

**問** 昨年7月発生した中谷地区山崩れの災害復旧状況は。復旧法について地元説明は。

**市長** 鹿児島県が1億3千万円の事業費で実施する。4工区に分けて2月24日に入札が行われ9月中に完成する。説明は地元から不要とのことである。

## 河川改修は

**問** 中谷地区水害の原因である河川改修は。

**市長** 鹿児島県管理の川である。国との協議も終わり宮崎県の工事と合わせ、4月から6月にかけて河道掘削で行う。事業の完了までは数年を要す。

**問** 河道掘削では一時的に水をためる時間は保てるが、抜本的な水害対策にはならない。川幅の拡幅を行うべきである。

**市長** 今後継続して関係機関に要望していく。



豪雨により山崩れした中谷地区

## 県道改良の状況は

**問** 23年度県道改良の状況は。

**市長** 曾於地区土木協会を通じて改良要望しているのが、8路線である。

本年は光神山諏訪方線（湯之尻工区）、塚脇財部線（上村工区）、末吉財部線（柳迫工区）の整備が計画されている。



# 委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、開会中の月定例会で付託になった議案等について審査を行いました。

## 総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

### ☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

**問** 相当数の市有地がある。今後歳入を確保するために一番力を入れるべきであるがどのように取り組むか。

**答** 市有地はたくさんあるが、その中で実際に売却可能な土地にのぼり旗を立てて売り地と分かるように23年度当初予算に計上している。

**意見** 消防団詰所の補助対象外の備品等については市の経費を充てるべきである。

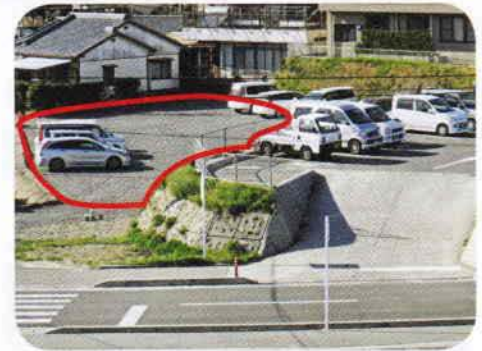
### ☆平成23年度曾於市一般会計予算(所管分)

**問** 平成28年度以降の財政計画はどういう形になっていくのか。

**答** 合併特例債(合併10年間)は平成27年度まで100%受け入れられる。



完成した末吉中央分団詰所



舗装が待たれる駐車場

普通交付税は平成28年度以降、5年かけて段階的に率が下がっていくので、かなり厳しくなると思っている。

**問** 財政計画と総合振興計画との整合性は。

**答** 財政計画は総合振興計画等を毎年見直ししていくのでその段階で修正していく。

**問** 整備された本庁舎北側駐車場入口の空き地も一緒に舗装ができないか。

**答** 駐車場の入口の空

き地は旧水路敷地であり地下に縦坑があるので現在検討している。

**問** 耐震性の防火水槽は構造上どう違うのか。

**答** 国の補助事業の対象であり、構造的にも強度が高く震度6程度の耐震性がある。

**問** 職員から要望があればいろんな研修に参加させるとあったが、職員に伝わっているのか。

**答** アカデミー等の研修については、職員に希望をとって受けさせ

ている。今後、職員が少なくなっていくのでより高い意識を持って資質向上に向けた研修を受けさせたい。

**問** 空き家調査事業の実施時期及び事業内容は。

**答** 2年前に空き家の件数等を調査したので、今回6月から6カ月間、居住可能と思われる空き家の調査を詳しく行なう。

**意見** ◎合併によって職員数が減っているため、今後少ない人数の中で係だけでなく、課全体で対応できるシステムを構築すべきである。

◎パークゴルフ場・フラーパーク整備事業は、今回10社より設計技術の提案を受ける予算であり、それを基に財政も含めたうえで議論を深め、調査研究も進める必要がある。

# 文教厚生常任委員会

(原田賢一郎委員長)

## ☆平成23年度一般会計予算について(所管分)

**問** 市内の小規模集落水道の調査結果の概要は。

**答** 市全体で93組合があり約6,300人が加入されている。運営上では、高齢化などによる維持管理が困難なことや災害時の対策が不十分であるなど問題点もある。



耐震補強工事が実施される榎小学校

**意見** 条件の悪い地域ほど手厚い行政の手立てを行う必要がある、

生活環境の実態を把握され、救済策を十分検討するべき。

**問** 学校施設の耐震補強工事の内容について。

**答** 23年度は5小学校(榎・諏訪・岩北・恒吉・大隅南)で補強工事を実施する計画である。

## ☆平成23年度国民健康保険特別会計予算について

**問** 新規事業のミニドック健診の内容は。

**答** 仕事などで健診を受けられない方々の対応策として、特定健診とがん検診をセットで個別に医療機関で受けられる健康診査で150名を見込んでいます。

## ☆平成23年度介護保険特別会計予算について

**問** 新しい緊急通報システムの内容について

**答** ひとり暮らしの高齢者宅での家電製品の利用状況が、離れて暮らす家族などにメールで届けられるシステムである。

## ☆所管事務調査

### (調査事項)

保健福祉関連施設調査(内容)

市内における保健福祉施策の実態を把握するため、6施設の調査を実施した。

すみよしの里(末吉町)

主に身体障害者を対象とした多機能型複合施設として生活介護・短期入所・就労支援など多岐にわたる事業を実施され、就労支援では、野菜の栽培、袋詰め作業などの取り組みが行われている。

のどか園(末吉町)

自立訓練・就労移行支援において、意欲的に障害者の方が働ける環境作りに配慮され、園内には食品加工工房・製パン工房、レス・製パン工房などがあり、農業を基本に据えた事業が展開されている。

・高松みどりの里

(末吉町)

グループホーム・小規模多機能ホームの2事業が実施されており、利用者の状態に応じて、通い・泊まり・訪問を組み合わせた支援がなされ、家庭と施設で連携した介護の取り組みがなされている。

・グループホーム曾於

(財部町)

定員18名の当施設は、認知症対応型の介護事業所として、少人数でゆったりとした生活を営みながら介護が行えるよう、家族的な雰囲気を出し配慮がなされている。

・市社会福祉協議会

財部事業所(財部町)

通所介護の事業として、入浴設備・リハビリ設備等を利用し、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、家族の身体的・精神的負担の軽減が図られている。



大隅シオン舎  
うどんの店ふくろう

# 建設経済常任委員会

(大川原主税委員長)

## ☆平成23年度曾於市一般 会計予算(所管分)

を森林組合に委託するものである。

**問** 花房峡憩いの森環境学習促進事業の内容と委託先は。

**答** ふるさと基金を使った事業で、主に遊歩道の整備を中心に、環境学習、特に体験活動の計画、案内板の設置

**問** 農業者年金の21年度未受給者と、受け取る年金の財源は何か。

**答** 21年度未受給者は1,337人、加入者は179人であり、農業者年金は旧法と新法の2種類に分かれ、新

法においての農業者年金は、個人の掛金とその運用益が将来受け取る年金となる。

**問** 農道等維持補修に関する対応は。

**答** これまで生コンの支給は概ね14㎡以内の支給が原則だったものを概ね200㎡以内に、採石の支給はこれまで14㎡だったが、原則20㎡に、トラフ支給もこれまで概ね5万円以内であったが、これも概ね200㎡以内を原則とし、外蓋・ヒューム管等二次製品支給は5万円以内を原則に対応する。

**問** 雇用促進事業の内容は。

**答** 新卒者未就労防止については、市内の出身者を対象に今春卒業の高校生・大学生などを含めて考えている。

**問** 花と緑の供給センター管理費の内容で、花の種類がいつも同じようだが、他に種類はあるのか。

**答** 基本的に夏はサルビア、マリーゴールドを育苗し、冬は葉ポタんとパンジーを育苗している。定着しているものもあるので、少しずつ変えていく。

## ☆平成23年度曾於市 公共下水道事業特別会計予算

**問** 主な事業の内容は。

**答** 汚水枝線管渠の詳細設計と工事を実施し、受益地区での下水道へ接続を順次進めていく。

## ☆平成23年度曾於市水道 事業特別会計予算

**問** 量水器の修繕費の内容は。

**答** 計量法により8年に1回交換するよう定められているので、今年は1334個を交換予定である。



下水道への接続工事の様相



花と緑の供給センター内

# 議会広報等調査特別委員会研修報告

議会広報等調査特別委員会では、去る2月16日静岡県清水町、17・18日東京シエーン・パッパ・サポー（旧砂防会館）にて議会広報の編集等について研修を行いました。

清水町の研修ではお互いの挨拶の後、議会だよりの発行までの行程の説明を受けると共に、活発な質疑応答と意見交換が行われました。

なお、清水町議会だよりが平成22年度町村議長会広報全国コンクール表紙フォトグラブリー賞を受賞されたとのことでした。

翌日は、

○半沢幹一 先生

広報文書の決め手は校正力

○吉村 潔 先生

広報誌の企画とレイアウト

○川西正幸 先生

議会広報誌の撮影と表現方法

を受講いたしました。

2日目は、城市 創先生による6町村議会だよりのクリニックが行われ、誌面を見ながらの丁寧な指導は大変参考になりました。今後の曾於市議会だよりの編集の中で活かして参りたいと思います。



広報研修（静岡県清水町議会にて）

## 表紙によせて



今年3月に、昭和21年生  
まれの末吉小学校同窓会に  
約30名が集まりました。そ  
の時ある女性が小学校の入  
学式の写真を持って来てお  
り懐かしく拝見したのと同  
時に、複製をお願いしました。  
当時の社会情勢は厳し  
く、着ている服も質素なも  
ので私自身それ以前の写  
真はありません。  
表紙の写真は、末吉小  
学校の入学式の様子です。  
どの子どももすばら  
しい服を着て屈託のない笑  
顔で入場する姿を見ている  
と、この子達の将来がすば  
らしいものになるよう祈ら  
ずにはいられません。  
がんばれ新一年生！

（大川内）

## 編集後記

三月十一日の東日本  
大震災と福島原発の破  
損は日本に大きな被害  
をもたらしました。一  
瞬にして尊い命と住む  
家が奪われてしまった  
人々が、避難所で「生  
きていてよかった」と  
抱き合う姿を見ると、  
この災害の大きさを  
くづくと考えさせられ  
ます。また、原発での  
放射能漏れにより、さ  
らに東北や関東地域  
に問題が出てきていま  
す。私たちの住む曾於  
市も口蹄疫や集中豪雨  
での被害もありました  
が、地球上の何かが変  
わりつつあることは間  
違いありません。  
議員の役目は、市民  
を守る立場からさらに  
議論を尽くし、住民の  
ための市政を目指した  
いものです。  
今回の地震により亡  
くなられた方々へ心より  
ご冥福を申し上げます。

（五位塚）

## インターネットで本会議を放映

6月定例会から本会議の放映を行いますので、自宅にいながらパソコンで視聴できます。

曾於市のホームページの議会中継を選んで、視聴ください。  
(アドレス <http://www.city.soo.kagoshima.jp/>)

※6月定例会は試験放映です。

## 議会広報等調査特別委員会

委員長 大川内富男

副委員長 今鶴 治信

委員 九日 克典

委員 八木 秋博

委員 五位塚 剛

委員 谷口 義則

発行責任者

議長 大津 亮二